

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
プラチナカップ	2018/7/16	SIII	浦和	1400m	ハイペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ウェイトアンドシー	セ7	58	今野	オレハマッテルゼ	サンデー系	エプロス	ミスプロ系	B	C	A	B	B	B	○	
2	2	インフォーマー	牡7	58	張田	タイムパラドックス	ロベルト系	ナグルスキー	ナスルーラ系	D	C	C	D	D	D		
3	3	アンサンブルライフ	牡5	58	的場文	アジュディケーティング	ノーザン系	Dancing Brave	ノーザン系	B	B	B	B	B	B	△1	
4	4	ニシノラビート	牝7	56	吉原	サウスヴィグラス	ミスプロ系	Dynaformer	ロベルト系	C	A	A	C	B	C		
5	5	リアライズリンクス	牡8	58	左海	タイタクリューヴァ	サンデー系	マイネルラブ	ミスプロ系	B	B	A	B	B	B	▲	
6	6	ノブワイルド	牡6	56	橋本	ヴァーミリアン	ミスプロ系	アンバーシャダイ	ノーザン系	B	D	A	B	B	C		
7	7	キタサンミカツキ	牡8	58	森	キングヘイロー	ノーザン系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	A	A	B	A	A	B	◎	
	8	ジョーオリオン	牡9	58	藤本	ダイワメジャー	サンデー系	ジェイドロバリー	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		
8	9	トキノエクセレント	牡10	58	高松	アツミラーレ	サンデー系	ブライアンズタイム	ロベルト系	D	C	A	C	C	C		
	10	テムジン	牡9	58	笹川	ディーブインパクト	サンデー系	トニービン	ナスルーラ系	D	B	C	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
ウェイ ノブワ ニシノ キタサ アンサ リアラ インフ トキノ ジョー テムジ ハイペース	<p>出走馬10頭のうち5頭が地元・小久保厩舎。今年のプラチナカップはチーム・小久保厩舎の思惑を読むのがすべてといえそう。その思惑を踏まえつつ予想した隊列図が左の通り。逃げるのはウェイトアンドシーだろう。1枠1番で控えるメリットはゼロ。同型・ノブワイルドの存在は厄介だが、ノブワイルドは同じ小久保厩舎所属。騎手の上下関係を考えても無理に競いかけてくることはなさそうで、意外と楽にハナに立てるのではないかと。2番手はノブワイルド。行き切ってこそこのタイプではあるが、前走デイリー文月杯では番手策を取った上、鞍上が勝負度の低い橋本騎手。小久保厩舎からは「ウェイトアンドシーを行かしてその直後につける」という指示がありそう。能力的にはウェイトアンドシーを負かしても不思議ではないが、立場的にはサポート役に回るだろう。(中略)。ここは展開が読みやすく、馬券も買いやすいレースかもしれない。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命はキタサンミカツキが久しぶりの重賞制覇を決める。(以下省略)</p>	回顧

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ウェイトアンドシー	○	前走京成盃ランドマイラーズは向上面で勝ち馬キングガンズラングにハゲを奪われる厳しい展開。今回は同型・ノブワイルドが同じ小久保厩舎なので、競いかけられることはなさそう。		
2	2	インフォーマー		近2走は川崎マイラーズ6着、京成盃ランドマイラーズ7着と掲示板外に敗退。今回は近2走で先着を許した馬たちが相手。上位争いは難しいだろう。		
3	3	アンサンブルライフ	△1	リアライズリンクスと同じ理由で要注意。前走さきたま杯ではJRA勢が自滅したとはいえ、3着に好走したのは立派。メンバーレベルが低下するなら前走から着順を落とすことは考えづらい。		
4	4	ニシノラピート		浦和1400mは得意コースだが、牡馬混合だとオープン特別でも馬券に絡むのがやっつ。牡馬混合の重賞では荷が重い。		
5	5	リアライズリンクス	▲	キタサンミカツキが4コーナーで先頭を射程圏に入れば、展開の恩恵を受けるのはキタサンミカツキより後ろにいる馬。前走京成盃ランドマイラーズも漁夫の利的な好走だったが、今回も似たような競馬になりそう。浦和1400mは得意コースでもあり、引き続きの好走があるのではないかな。		
6	6	ノブワイルド		行き切れば、勝ち切るだけの能力を持っているが、番手策だった前走デイリー文月杯ではバンドオンザランに完敗。引き続き橋本騎手が騎乗していることを考えてもウェイトアンドシーのサポート役に回るのではないかな。あまり手を広げるレースでもないで、ここはバツサリと切りたい。		
7	7	キタサンミカツキ	◎	前走さきたま杯は1枠1番で乗り難しかったが、終わってみれば、勝ち馬サクセスエナジーからタイム差なしの2着に好走。今回のメンバーでは能力が一枚抜けており、動きやすい枠に入ったことを考えても差し損ねる心配はなさそう。		
	8	ジョーオリオン		オープン特別でも大敗が続いている馬。重賞では荷が重い。		
8	9	トキノエクセレント		浦和1400mでは14年さきたま杯2着があり、浦和コースのスペシャリスト。ただ前走は約1年ぶりの出走で12頭立ての12着と敗退。年齢的にガラリイ変は難しいかな。		
	10	テムジン		転入直後は重賞でも好走していたが、近走は明らかに下降気味。苦戦必至だろう。		